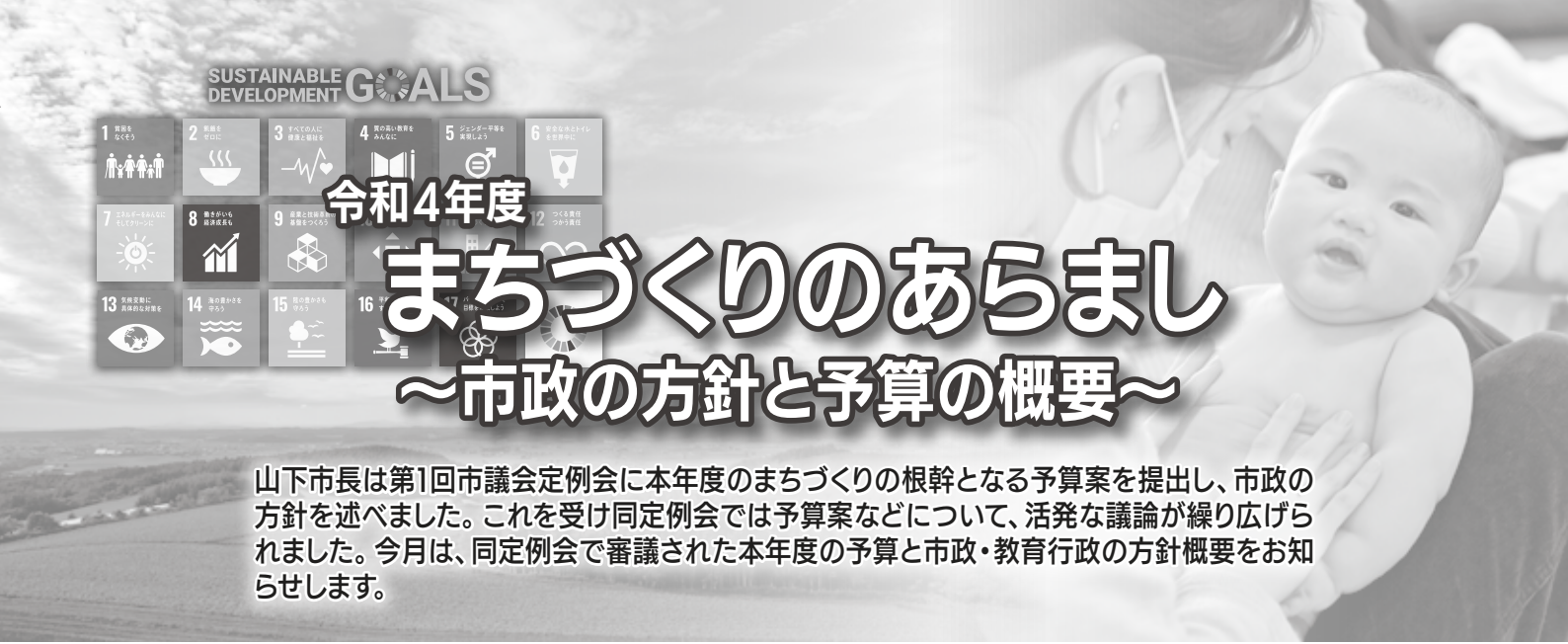




気候変動問題への対応、進化したデジタル技術を社会に浸透させるデジタル・トランスフォーメーションの推進など、地方自治体においても新たな視点に立った持続可能なまちづくりが求められています。

本市におけるSDGsと関連の深い取り組みとして、誰もが仕事と子育てを両立できる環境の整備を進めていくほか、女性の視点に立った防災などにも対応した「第3次深川市男女共同参画計画」を策定します。

気候変動問題や地球温暖化への対応については、2050年の脱炭素社会の実現（カーボンニュートラル）に向けて、二酸化炭素の削減などの取り組みを検討します。

また、森林の整備については、地球温暖化への対応や災害の防止など、森林の有する多面的機能を発揮するため、国・道の支援制度の活用にも努めるほか、森林環境譲与税を活用した事業を推進するとともに、木材利用の普及啓発に努めます。

国が策定した「自治体デジタル・トランスフォーメーション推進計画」に基づき、令和7年度を目標とした自治体の情報システムの標準化に取り組みます。また、市民課窓口においては、ICT（情報通信技術）を活用し、各種手続きの待ち時間を短縮することができる窓口業務支援システムやキャッシュレス決済を導入することにより、来庁者との接触機会を低減し感染防止対策を図ってま

令和4年度

まちづくりのあらまし ～市政の方針と予算の概要～

山下市長は第1回市議会定例会に本年度のまちづくりの根幹となる予算案を提出し、市政の方針を述べました。これを受け同定例会では予算案などについて、活発な議論が繰り広げられました。今月は、同定例会で審議された本年度の予算と市政・教育行政の方針概要をお知らせします。

市政の方針

深川市長 山下貴史

新型コロナウイルス感染症は、いまだに収束が見通せず、日常の暮らしに与える影響はさまざまな分野に及んでいます。本市においても、令和2・3年度にかけて感染拡大が顕著となったため、感染症の拡大防止とともに地域経済活動の回復を目指し、切れ間なく対策を講じてきたところです。

こうした中、本市を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いており、まちの活力の低下を招く一因となる人口減少の傾向を少しでも緩やかにしていくことが重要課題となっております。本年度は本市の将来を長期的に展望した基本方針である第六次総合計画を受けて施策展開する初年度です。目指す都市像として「豊かな自然と暮らしが調和した 田園都市 ふかがわ」を掲げる本計画に則し、時代の潮流を捉えた各種施策を着実に推進し、人口減少に負けない活力ある持続可能なまちの実現に向けて全力を傾注していきます。以下、本年度の主要課題や重点施策などについて申し上げます。

1 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策本部を中心に、市民のみなさんの安全・安心の確保に向け、拡大防止対策に取り組んでいるところです。ワクチンの接種については、3回目の接種を進めるとともに、5歳から11歳までの小児に対しても円滑に接種が行えるよう努めてまいります。市立病院においては、感染症に対する検査・経口投与薬などを用いた治療体制を維持しつつ、院内の感染防止にも努め、安全・安心な医療体制の提供に最大限の努力をしていきます。

また、地方創生臨時交付金を活用し、市民生活や地域経済に対する各種支援策などにも取り組んでいきます。

2 活力あるまちづくり

本市の基幹産業である農業については、昨年の凍害や高温少雨などにより被害を受けた農業者への災害対応資金の利子助成とともに、国の「水田活用の直接支払交付金」が見直されることの影響を検証し、関係団体と連携し対応に努めます。また、農畜産物の消費拡大対策に取り組むほか、他産業などと連携した人材の受け入れやスマート農業を通じて省力化技術導入への取り組みを推進します。

観光産業は、需要の減少によりさま

3 持続可能なまちづくり

近年、誰一人取り残さないことを理念とした、国際社会共通の将来目標として取り組まれているSDGs（エスディーズ）の推進や、急激に変化しているさまざまな業種への影響が続く懸念があるため、ウィズコロナを見据えた新たな観光スタイルの定着に努めるとともに、新規誘客やリピーターの確保など観光需要の回復に努めます。

夏冬まつりをはじめとする各種イベントについては、地域活性化を促す重要な役割を担っていることから、コロナ禍に即した在り方を検討していきます。

地域資源の活用については「ふかがわパーク」や「ふかがわシードル」のブランド化と安定生産を図り、雇用の創出とシードルの原料供給を担う果樹農家の支援に努めます。

また、北海道・北東北の縄文遺跡群が世界遺産登録されたことを契機に、本市の縄文遺跡である国指定史跡「音江環状列石」の周辺環境整備と誘客などに取り組み地域振興につなげてまいります。

コロナ禍を機に地方移住への関心が高まっていることから、恵まれた自然環境をはじめとする本市の魅力を発信するなど、これまでの移住施策をより充実させるとともに、関係人口の創出に向けワーケーションの受け入れや、地域おこし協力隊の増員などの取り組みを継続します。

4 安全・安心のまちづくり

います。このほか、高齢の方をはじめパソコンに不慣れな市民を対象としたICT活用セミナーを開催します。

また、持続可能な公共交通網の形成に向けて、感染症の拡大に伴う利用者数の減少や乗務員不足の現状などを調査し、今後の公共交通の維持確保に資するリバイバルプランの策定を進めます。

機能の導入など、市民に親しまれ利用しやすい庁舎となるよう、令和5年度の開庁を目指して、引き続き整備を進めてまいります。

立地適正化計画に基づくまちなかの拠点施設整備については、懸案である中央公民館とバスターミナルの複合施設整備を視野に、市民や議会をはじめ関係機関から意見を伺うなど、具体的な検討を進めます。

消防・救急については、消防団の装備品の整備や団員の処遇改善を行い地域防災力の強化を図るなど、消防体制の充実と災害対応能力の一層の向上に努めるとともに、感染症対策として消防総合庁舎の衛生設備の改修を行います。

北空知葬斎場については、安心・安全でプライバシーに配慮した新葬斎場の建設を推進するため、実施設計などに着手します。

令和4年度各会計予算

項 目		令和4年度 予算額	令和3年度 当初予算額	増 減 額	増 減 率
一般会計		194億2,000万円	168億1,000万円	26億1,000万円	15.5%
特別会計	介護保険	22億5,000万円	22億3,300万円	1,700万円	0.8%
	国民健康保険	30億3,400万円	30億5,600万円	△2,200万円	△0.7%
	後期高齢者医療	4億1,900万円	4億1,370万円	530万円	1.3%
	農業集落排水	1億9,300万円	1億8,140万円	1,160万円	6.4%
	下水道	9億300万円	9億8,600万円	△8,300万円	△8.4%
計		67億9,900万円	68億7,010万円	△7,110万円	△1.0%
企業会計	水道	8億2,200万円	8億7,980万円	△5,780万円	△6.6%
	病院	58億3,541万円	54億9,403万円	3億4,138万円	6.2%
	計	66億5,741万円	63億7,383万円	2億8,358万円	4.4%
合 計		328億7,641万円	300億5,393万円	28億2,248万円	9.4%

重点事業・主要施策の概要

令和4年度予算の重点事業・主要施策の概要と該当する予算額などを抜粋してお知らせします。

【問合先】

- ▶市政の方針…企画財政課企画係(☎26-2246)
- ▶教育行政方針…学務課管理係(☎26-2332)
- ▶予算について…企画財政課財政係(☎26-2622)

健康・福祉・医療に関する分野

妊娠・出産応援交付金事業 (コウノトリ応援プラン)の拡充 2,720万円

	R3まで		R4から
第1子	13万6千円	±20万円▶	33万6千円
第2子	23万6千円	±10万円▶	
第3子以降	33万6千円	±20万円▶	53万6千円

妊婦・応援分の交付金を増額し、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを強化

市民の健康と地域医療

- ◎新型コロナワクチンの接種を安心・安全に実施するための体制整備 5,145万円
- ◎市立病院において良質で安定した医療サービスを提供するための運営経費 58億3,541万円
- ◎休日・夜間救急医療体制の維持・確保 4,406万円
- ◎旧多度志診療所の解体工事を実施 600万円

障がい者福祉

- ◎関係事業所と連携し、障がい福祉サービスを提供 5億8,116万円

高齢者福祉

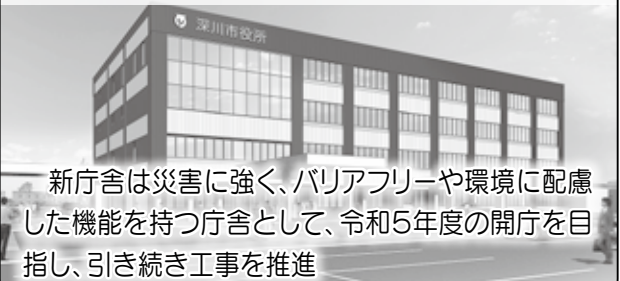
- ◎高齢男性に特化した介護予防教室を実施 280万円
- ◎高齢の方などで、家庭系ごみを集積所まで運ぶことが困難な方のごみ出し支援 156万円

子ども・子育て

- ◎未婚化・晩婚化対策として独身男女が出会える機会を創出 25万円
- ◎住宅の取得や賃貸、引っ越し経費を助成し、若年層の結婚新生活を支援 120万円
- ◎保育料について、国の基準からの50%軽減や入所第2子の無料化などを実施 3,601万円
- ◎3歳児健康診査で弱視を早期発見するため、屈折検査を行える体制を強化 181万円
- ◎妊娠を希望する方の負担を軽減するため、一般・特定不妊治療に要する経費を全額助成 127万円

快適な生活基盤の構築に関する分野

新庁舎建設事業の推進 32億4,964万円

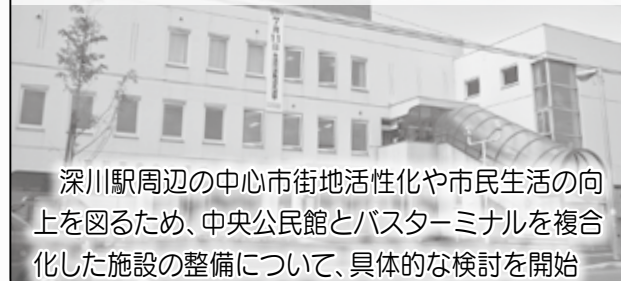


新庁舎は災害に強く、バリアフリーや環境に配慮した機能を持つ庁舎として、令和5年度の開庁を目指し、引き続き工事を推進

市民生活の安全

- ◎地域防災計画に基づき防災教室などを開催するほか、自主防災組織の設立を推進。また、防災備蓄品として、給水コンテナを整備 347万円

複合施設整備(都市再生整備事業)の検討開始 200万円



深川駅周辺の中心市街地活性化や市民生活の向上を図るため、中央公民館とバスターミナルを複合化した施設の整備について、具体的な検討を開始

交通・道路

- ◎都市基盤である道路網や橋の整備 6億4,592万円
- ◎冬期間の快適な生活環境を確保するため、効率的な除排雪作業と除雪車の更新を実施 4億2,620万円

経済・産業に関する分野

商業・サービス業

- ◎企業や商店の経営安定と経営体質強化のため、支援事業を推進 2億2,096万円
- ◎中心商店街のにぎわい創出に向けた取り組みなどの支援 476万円

観光・交流

- ◎道の駅「ライスランドふかがわ」の満足度向上のため特別キャンペーンの開催経費など 2,124万円
- ◎観光知名度のさらなる向上と観光客の誘客に向け周辺自治体と連携した広域観光の推進 1,478万円



雇用の確保

- ◎関係団体と連携し、新規卒卒者などの確保 150万円
- ◎働きながら子どもを産み育てられる労働環境づくりをより一層推進 120万円

農・林業

- ◎将来の農地利用などを担う経営体を確保するため、後継者の経営発展に要する経費を支援 800万円
- ◎令和3年の凍害などにより被害を受けた農業者への災害対応資金の利子助成を実施 161万円
- ◎農業生産基盤を整備するため関係機関と連携し、基盤整備事業に要する経費を支援 400万円
- ◎本市の基幹産業である農業の担い手を確保・育成し、優良農地の円滑な継承を推進するため設立した農業法人「深川未来ファーム」の運営支援 3,650万円
- ◎農作物被害の防止を目的とした有害鳥獣の捕獲やその個体を適性に処理する施設の運営 2,288万円
- ◎民有林の保育間伐や林道の維持修繕に係る費用などを補助 1,209万円



ものづくり産業

- ◎企業誘致活動の推進と既存企業の支援 6,499万円
- ◎ふるさと納税の推進とともに、コメや加工品などの返礼品を有効活用した地場産品PR 2億3,952万円

火葬場建設事業の推進 2,871万円

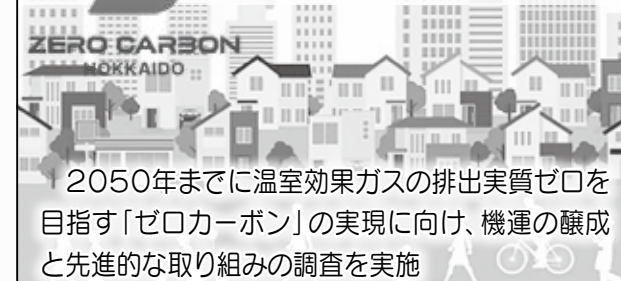


新火葬場の建設に向け、測量や調査、基本・実施設計などに着手

移住・定住

- ◎移住支援員を配置し、相談対応や空き家紹介、体験事業などをワンストップで実施するほか、新たに道外からの移住者に対する引っ越し費用の助成を行うなど、移住・定住をより一層推進 1,335万円
- ◎若年者の本市への移住・定住促進と人材確保を図るため、市内事業所に就職した30歳未満の方を対象に奨学金返還の一部を支援 129万円

ゼロカーボン実現に関する 施策検討事業の推進 25万円



2050年までに温室効果ガスの排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボン」の実現に向け、機運の醸成と先進的な取り組みの調査を実施

住環境

- ◎地域活性化やまちなか居住推進のため、持ち家の新築や耐震改修などの費用の助成を実施 2,550万円
- ◎市営住宅(あけぼの団地)の耐久性向上を図るため、屋上防水改修を実施 1,530万円

